

第1回あわら市総合振興計画審議会会議録（要旨）

1 日 時 令和7年2月20日(木) 19:00～20:00

2 場 所 あわら市役所正庁

3 協議事項 (1) 会長及び副会長の互選について
(2) 総合振興計画の概要について
(3) 全体スケジュールについて
(4) 市民アンケートの実施状況について
(5) ワークショップの開催について

4 資 料 ・ 会議次第
・ 総合振興計画審議会名簿
・ あわら市総合振興計画審議会規則
・ 総合振興計画の概要について（資料1）
・ 計画策定のスケジュールについて（資料2）
・ 市民アンケート実施状況について（資料3-1～3-3）
・ ワークショップの開催について（資料4）

5 出席者 委員：桑原美香（会長）、赤尾政治（副会長）、笹原修之、市野三郎、木元久、
笹岡太久磨、坂野靖子、坂井寿範、土田ゆり子、渡邊一幸、丸谷浩二、
東川継央、坂井幹夫、前田健二、玉川洋一、宗石宗康、堂庭信男（敬称略）
市：森之嗣（市長）、渡邊清宏（創造戦略部長）、西正真琴（政策広報課長）、
多賀太郎（政策広報課長補佐）、南昇兵（政策広報課主査）

6 欠席者 伊藤昭栄、山口透、児玉慎太郎（敬称略）

7 会 議

・ 市長あいさつ

・ 事務局より本審議会の概要や構成について説明（資料の1～2ページ）

本審議会 は 第3次あわら市総合振興計画の策定にあたり、「あわら市総合振興計画審議会規則第2条」の規定に基づき、市の関係機関の代表者及び学識経験者をもって組織している。本審議会

では、あわら市総合振興計画審議会規則第2条第3項の規定により、前回の審議会会長を務めていただいた福井工業大学の吉田先生に特別委員を務めていただく。

本審議会の目的は、次の通りである。

- ・学識経験者および地域の代表者が参加することで、幅広い知見や多様な価値観を計画に反映すること。
- ・住民の声を公式に集約する機能を担い、計画策定の透明性と信頼性を高めること。
- ・計画の方向性を検討し、事務局案等に対して必要な修正や改善策を提示すること。

これらの議論を通じ、各種問題点を整理し、将来の展望や課題に対して専門的かつ総合的な見解を形成することで、計画の実効性を高め、より公正で持続可能な施策の実現につなげていくことを目指している。

また、最終的には、あわら市長からの第三次あわら市総合振興計画（案）に関する諮問に応じ、専門的知見および住民意見を踏まえた結論・見解を答申として提出していただく。

- ・会長及び副会長の互選を行い、会長に福井県立大学の桑原教授、副会長にあわら市商工会の赤尾会長を選出した。

・会長あいさつ

今の世の中は非常にボラティリティ（変動性）が高く、この先に何が起こるかわからず、先が見えないという風に言われている。このような未来に対しては、しなやかに折れない形で立ち向かうことがこの時代には相応しいと思う。ある程度の計画の芯の部分はあるとしても、少し予定していたことと違う結果も受け入れるようなしなやかさをもって対応してほしい。

今後10年と言わず、30年先、50年先がどんな「あわら市」であってほしいと願うのか、そのバックキャストिंगでこの10年を計画できたら良いと思う。

- ・事務局より一括議題として「総合振興計画の概要について」、「全体スケジュールについて」、「市民アンケートの実施状況について」、「ワークショップの開催について」説明

・総合振興計画の概要について（資料の3ページ～4ページ）

本市では、現在、平成28年に策定した第2次あわら市総合振興計画に掲げる「暮らしやすくて幸せを実感できるまち」をまちづくりの基本理念に、各種の施策を進めている。

総合振興計画は、市の行政サービスの目標や基本的な方針掲げるもので、市が行政運営を行うための中長期的な指針である。

なお、現在の総合振興計画の計画期間は平成28年度から令和7年度となり、次期の総合振興計画は令和8年度から令和17年度となる。

(総合振興計画とは)

- ・市政運営の基本となる市の計画で
 - ・すべての「分野」における行政の「基本的な考え方」を示すもの。
 - ・構造としては、資料1にあるように
 - 計画期間の10年間を通しての基本的な理念やまちづくりの基本的な方向性を示す「基本構想」
 - 基本的な施策を体系化して示し、各施策の方向性を示す、前期5年、後期5年の「基本計画」
 - 具体的な事業計画となる「実施計画」
- の3層構造を採用したい。

総合振興計画は、市のすべての計画の最上位計画に位置し、市が策定する各種計画については、総合振興計画と整合性を図ることが求められる。

(市民目線からの策定について)

総合振興計画については、市民と市が共同でまちづくりに取り組むための基本的事項を定める必要があり、市民の意見を取り入れながら策定していくことが必要となる。

そのため、策定過程において、「市民アンケート」や、「ワークショップ」の実施により、計画づくりに市民の参加が重要となる。

(総合戦略との統合について)

あわら市では、総合振興計画とは別に「総合戦略」というものを策定している。

「総合戦略」とは「まち・ひと・しごと創生法」という法律に基づき策定するもので、人口減少対策や地方創生に向けた内容に特化した計画と目標をまとめた、あわら市の戦略となっており、こちらについても、毎年度その進捗状況を整理し、別に組織する委員に評価いただいている。

現在の総合戦略についても、令和7年度で終期を迎えることから、これまで別々に策定していたが、総合振興計画と内容が重複している部分があることや、進捗管理や評価に係る職員の業務効率化を図ることを目的として、第3次総合振興計画の策定にあたって一本化することとする。

(策定体制について)

「市民アンケート」「ワークショップ」で寄せられた意見を、専門部会で集約し、副市長を委員長、教育庁を副委員長、各部部長級職員で組織する総合振興計画策定委員会に置いて、総合計画や

施策の体系等の案を作成する。

その後市長に対する提案や、市長から策定委員会への意見や指示といった過程を通して、具体的な総合振興計画案の作り込みの作業を行う。

策定過程や、基本構想案、基本計画案等については、今後開催を予定している本審議会においても協議を重ねていきたい。

最終案について、本審議会に諮問され、それに対し答申、その後市議会に提出され議決を得ることとなる。

・全体スケジュールについて（資料の５ページ）

全体スケジュールとして、基本構想、基本計画の計画策定に係るスケジュールおよびアンケート、ワークショップ、パブリックコメントの市民参画に係るスケジュール、審議会、策定委員会の開催に係るスケジュールをお示ししている。

昨年より、各種準備を進めており、市民アンケートについては、昨年の１２月から実施し現在集計中となっている。また、ワークショップについては、来年度４月から５月にかけて実施したいと考えている。

審議会については、今回を含め全部で５回開催とし、本日の審議会では総合振興計画の概要や今後のスケジュール、アンケートの結果やワークショップの進め方についてご協議いただく。

５月から６月頃開催予定の第２回審議会では基本構想（案）の検討、８月頃開催予定の第３回審議会では基本計画（案）の検討（１回目）、９月頃開催予定の第４回審議会では基本計画（案）の検討（２回目）とパブリックコメント案について協議いただき、令和８年１月頃の第５回審議会ではパブリックコメントの結果の報告と、計画最終（案）の確認および答申となる予定となっている。

・市民アンケートの実施状況について（資料の６ページ～１１ページ）

市民アンケートについては、１８歳以上の市民の方を対象としたものと小中学生を対象としたものの２種類を実施している。

（成人向けのアンケートについて）

調査期間は令和６年１２月２日～令和７年１月６日で、

調査対象者としては、市内在住の１８歳以上の方２,０００人、こちら無作為で抽出している。

合わせて、広報あわら１２月号で、回答の呼びかけを行った。

調査方法として、郵送配布、郵送回収またはＷＥＢ回答による本人回答方式を採用した。

配布数は２,０００件で有効回答数は８３０件回答率は４１.５％という結果であった。

質問内容としては、資料のとおりであった。

(小中学生向けアンケートについて)

調査期間は令和6年12月2日～12月31日

調査対象者はしない小学校5・6年生および中学校の在校生

調査方法は校内配布・回収による本人記入方式

配布数は1,031件 内訳としては小学生424件、中学生607件

有効回答数は875件 回答率84.9%

質問内容としては、資料のとおりであった。

成人向け、小中学生向けのそれぞれの質問内容としては、資料8ページから11ページにまとめている。

アンケート結果については、現在集計中となっており、集計が済み次第、委員にご報告するとともに、ホームページ上でも公表する予定。

・ワークショップの開催について（資料の12ページ～13ページ）

ワークショップの開催目的としましては、総合振興計画の策定にあたり、今後の10年間のまちづくりの方向性や目指すべき将来像を市民とともに共有し計画に反映すること。

市民アンケートでは、市民のまちづくりへの意向を広く集めることを目的としたのに対し、ワークショップでは、同一の人員で、複数回の議論を重ねることで、あわら市の将来についてより深い議論を行い、意見を集約することを目的とする。

（ワークショップの概要）

開催時期としては、令和7年4月から5月頃

参加者は20～30人程度の市民の方、広報やあわら市の公式LINE、SNSで公募を行う。

加えて、5人程度の若手職員も参加する予定。

ファシリテーターについては、計画策定の受託事業者である㈱ジャパンインターナショナル総合研究所のスタッフの方のほか、政策広報課の職員がつとめる。

回数としては、原則として同じメンバーで3回。

3回を1セットと考え、公募の結果多くの方の参加があった場合は、複数セット実施する。

（プログラム案）

第1回目

「あわら市の好きなところ、変えたいところ」というテーマのもと、リラックスした対話を通じて、多様なアイデアや洞察を得るワールドカフェ方式という手法を用いて、自由な意見交換を行い、市民の皆様目線のあわら市の現状課題の整理を行う。

第2回目

「目指したい未来のあわら市とその実現のために必要なこと」というテーマで、参加者が話し合いたいテーマごとのグループに分かれて、「理想とする将来のまちの姿」「実現のために必要となる取組」について、付箋や模造紙を使って話し合う。

第3回目

「まちづくりのアイデアを具体化する」というテーマで、第1回、第2回ワークショップで出されたアイデアを基に、これから必要となる取組をより具体化する。

ワークショップでの意見や実際の様子について、市ホームページ上で公開する他、より多くの参加の機会を設けるため、オンラインでの参加を募集するなど、Y o u T u b e ライブでの配信を検討している。

今後の流れとして、

3月の広報あわらで参加者を募集する記事を掲載するとともに、あわら市の公式L I N Eや公式SNS、HP上でも参加を呼びかける。

その後、4月・5月頃にワークショップを開催する。

・議題に係る質疑応答

(会長) ただいまの説明に関して何かご質問・ご意見等ないか。

(会長) 今回のワークショップは新しい取り組みか。

(事務局) ご認識のとおり。前回は第2次の後期計画となるが、ちょうど新型コロナウイルスの時期と被っていたため、ワークショップの開催ができなかった。今回は力を入れて取り組んでいきたい。

(会長) 全国的にも計画策定にワークショップを取り入れる事例は増えているように思う。今回、小中学生対象のアンケート調査を実施しているということで、今後10年20年後に主役になっていく方々の意見を収集できていると思う。ワークショップに関しては、高校生・大学生の方をぜひ参加させていただきたい。

(事務局) ワークショップの日程については、基本的に土曜日を予定している。大学生や県内企業の従業員の方などにお声がけして、いろいろな意見をいただけると良いと考えている。

(委員) あわら市は20歳から24歳までの女性の転出率がものすごく高い。その部分を抑えるためにも、その年代の方に積極的に意見を聞くのが良いと思う。

(委員) ワークショップについてはとても良い取り組みだと思う。ワークショップの場が出された意見については、まとめていく際に除かれるものも多いと思う。ワークショップで出た意見について、真剣に考えてもらえるように、出された意見の共有もしていただきたい。

(事務局) ワークショップに参加した方が参加した実感についてどのように担保するのも踏まえて、こぼれ落ちた意見の拾い上げについてもしっかり取り組んでいきたいと思う。

(委員) ワークショップの参加者について、性別や年代等、属性が偏らず、様々な意見が出されるようにしていただきたい。参加者の募集の仕方について、工夫していただきたい。

(事務局) 公募に加えて、企業や大学へ呼びかけを行い、いろいろな属性の方に参加いただけるよう取り組んでいきたいと考えている。

(顧問) 市民アンケートについて、いくつかの選択肢から選択する形になっているのか。また、このアンケートの内容については前回計画の策定の際とはだいぶ異なる内容となっているのか。

(事務局) 選択式については、ご認識のとおり。アンケートの内容については、新たに採用したものとなっている。経年比較としては、このアンケートとは別に毎年3月ごろに実施している市民アンケートで、5年間の推移を把握している。この結果についても、計画づくりに活用していきたいと考えている。

(委員) 現行の第2次計画が終わりを迎えるため、その成果や進捗状況を示した方が良いと思う。次の計画も現在の計画から全く別物として策定するわけではないので、前提とする資料としてそういったものを出してもらえると良いと思う。

(事務局) 計画の評価につきましては、庁内で作業を進めている。そういったデータについても、審議会の方などで公開しながら、計画策定を進めていきたいと考えている。

(顧問) 総合振興計画とは別に、総合戦略というものがあるのは非常にわかりにくい。一本化することは良いことだとは思いますが、一本化によって新たに考えていくこと・新たに取り入れるべきことは何かあるのか。

(事務局) 総合戦略とは、人口減少や地方創生に特化したものとなっている。そのため、今回の計画策定にあたっては、人口減少対策についての対応や地方創生に関する部分について、例えば、別に明記するなどして、計画の体系の中で、一目してわかるような計画づくりに取り組みたいと考えている。

(委員) 市内に外国人の方も多くいらっしゃると思う。今後は外国人の方ともうまく連携などして取り組んでいく必要があると思う。それについて、考えを教えてください。

(事務局) その件についてもしっかり協議していく必要があると考えている。本日は全体的な流れや概要の説明が中心であったので、具体的な計画内容については、第2回以降の審議会で説明させていただきたい。その中で、そういった論点についてどのように取り組んでいくのかということをお示しできると良いと考えている。

(会長) 外国人の方で、日本語が堪能な方のワークショップの参加を検討できると良いと思う。

(事務局) チャットGPTの力も借りながら、そういった方にも参加いただけると実態に即した計画を作れると思う。教育委員会などの力を借りて、そういった方の参加についても検討していきたい。

(委員) アンケートは市内在住者対象となっている。ワークショップについて、あわら市内に務めていて、市外に在住している方などに参加してもらえると、外からみたあわら市についての意見ももらえて、良いのではないかと思います。

(事務局) そのような方についても参加いただけるか検討したい。

市長ふれあいトークという場を設けており、市内企業の若手の方を対象として意見をいただいている。来年度にその中では、市民だけでなく、市内で働く方についても対象として考えている。そういった場で、幅広く意見をいただき、計画に活用できれば良いと考えている。

(顧問) 旅館に協力いただいて、旅館の宿泊客から意見を集めることも考えられるのではないかと思います。

(事務局) そのようなものを計画にどのように反映させることができるのかも含めて検討させていただく。

・協議事項の承認

特に異議なしということで、承認。

・全体を通しての質疑・ご意見など

(会長) 前回の総合振興計画の結果について公表するということが必要であるという話があったかと思う。今回の第3次総合振興計画がどのように評価されるのか、そもそもこの計画

が周知され、ちゃんと活用されることが必要だと思うが、どのように発信するのかをお伺いしたい。

(事務局) 現行計画の評価については、現在作業中である。現在の第2次後期計画では、200個以上の事務事業があり、それぞれにKPIや指標が設定されている。その進捗状況を改めて最終的に確認した上で、第3次に向けてどのようにしていくのか、違う施策に切り替えていくのかについて、庁内で整理しているところである。

市民の方に活用いただくことに関しては、ダイジェスト版を本日お配りしているが、新しい計画では、このダイジェスト版を教育の場などで、あわら市の方向性をわかりやすく示せるようなものにできないか検討中である。

(会長) Y o u t u b e などの動画媒体でも発信を検討できると良いと思う。

・その他連絡事項など

事務局から報酬の振込の案内

(20 : 00閉会)